

# 五十石橋耐震事業

標茶町の釧路川に渡河する五十石橋は、架設から47年経過しており、橋の老朽化及び狭小幅員の解消、地震時の被害発生防止などを目的に、架替え工事を実施しています。



# 工事概要

工事の進捗  
85% (10月末現在)

受注者：クニオカ工業株式会社

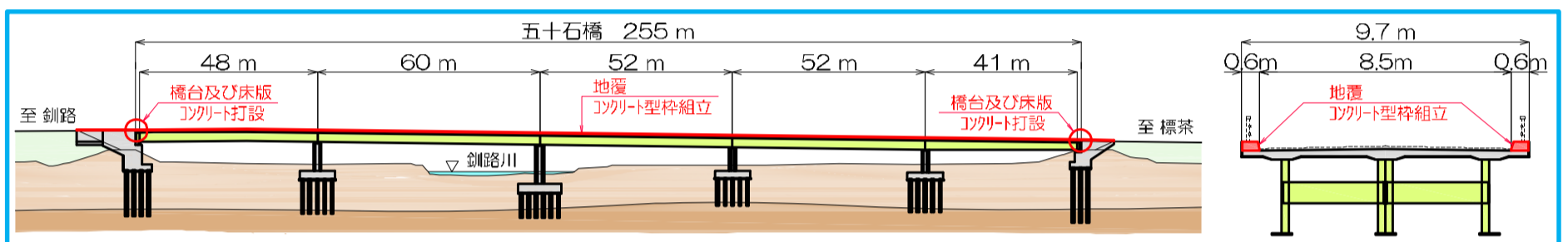
工事名：一般国道391号 標茶町 五十石橋床版工事

本工事は、五十石耐震事業のうち釧路川を跨ぐ延長255.0mの橋梁工事で、床版コンクリートや橋梁防護柵等の設置を行っています。

作業期間：平成28年3月～平成28年12月

工事箇所：川上郡標茶町オソツベツ

工事内容：5径間連続鋼非合成鉄桁橋（橋長：255.0m、幅員：8.5m）  
支間長：48.0m-60.0m-52.0m-52.0m-41.0m



## 現場の施工状況報告

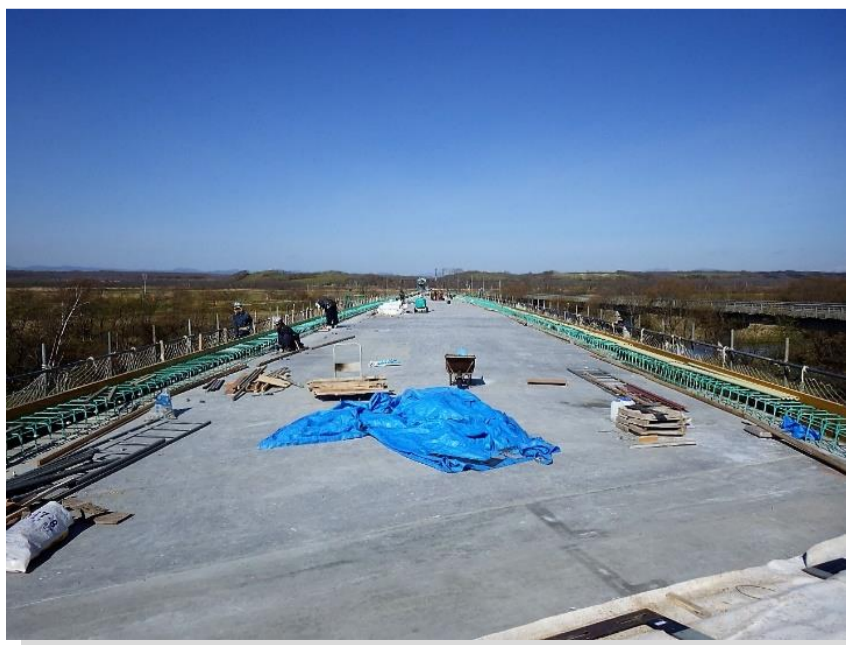
### ▼工事箇所全景



### ▼橋台及び床版生con打設の様子



### ▼地覆型枠組立の様子



### ◇現場コメント

晩秋を迎え作業も終盤に向かい急ピッチで行っています。全長255mの床版及び橋台（2次施工）の生con打設も終了し、残すは地覆コンクリート、高欄の設置です。最後に仮設工の吊り足場解体に向けて作業は進んでいきます。工事完成に向けて事故災害等がないように、安全作業を行ってまいります。